

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社豊田ほっとかん)
 事業所名 (有料老人ホーム豊田ほっとかん)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り介護ロボット aams/アムス		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月22日	5台	令和元年10月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

夜間(18時～翌7時)の時間帯で使用している。

認知症にてトイレの場所がわからない入居者や、歩行不安定のため転倒リスクが高い入居者のベッドに設置し、パソコンで睡眠の状況を確認する。ナースコールシステムと連動させて、利用者のバイタル反応の異変があった場合や利用者の離床状況を把握している。センサーが発報した場合に部屋を訪問し、確認をする。

【介護ロボットの導入効果】

ベッド上での「深い睡眠、浅い睡眠、覚醒、離床」が分かるので、スタッフの少ない夜間でも、利用者の状況に合わせた介護できる。覚醒や浅い睡眠の時に介護することで、入居者の睡眠の妨げにならないようにしている。

職員の精神的負担が減り、効率的な業務になっている。ご家族への報告や、職員間での情報共有に役立っている。サービスの改善や体調変化の気づきになっている。

看取りの利用者に対する活用では、心拍数や呼吸数を把握できる機能などを活用し、利用者の状態を把握できる。看取りの利用者の状況を把握することで、職員の精神的な安心感や、夜勤者的心の持ち方に良い影響がある。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 事業所名 (特別養護老人ホーム東和荘)
 サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りベッド	見守りケアシステム M2		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月30日	5台	令和元年11月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

「見守りケアシステム M2」を認知症状の多いフロアに全台設置。

従来の足元センサーでは、それを避けて動く行為によるフラつき転倒するため、今回、見守りベッドの設置をした。また、立ち上がりの際に足元センサーを踏むことでのフラつきや転倒の恐れがある方への見守りベッドを設置した。、

入所者によっては、足元センサー・離床センサーに不快感・拘束感を感じており、配線を引き出し取り外す行為、そういった行動による転倒予防のため設置を行っている。

【介護ロボットの導入効果】

従来の足元センサーを踏んで立ち上がる際、足元が安定しないことによるフラつきなども減少し、またコードを引っ張り出し触ったりする行為による転倒が未然に防げている。

入所者の特性に合わせて、起き上がり、立ち上がり、長時間の片側での座位等の見守りが出来るため、入所者の生活リズムに合わせた対応方法が選択出来、介護者の身体的・心理的な負担軽減に役立っている。

また通常の起き上がりに対する介護者の対応も、数秒間反応が早くなることで、フラつきや転倒を未然に防げている。長期的に見ると、導入した入所者の5割ヒヤリハットの減少を実感することを確認している。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人葆光会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム藤美苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守りケアシステム M2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年 11月21日	8台	令和1年11月21日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

従来のベッド上センサーと床マットセンサー使用対象のご利用者様に使用している。
 今回の介護ロボットには4つのモード(動き出し、起き上がり、端座位、離床)が搭載されている為、利用者様のADLに合わせて8人の利用者様を対象に常時使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- ・マット式センサーと違い利用者様が予想範囲外の位置からベッドを降りる際に起きていた事故は防止できている。
- ・4段階のモード(動き出し、起き上がり、端座位、離床)それぞれに3段階の感度が決められる為、様々な状態の利用者のシチュエーションほぼ全てに対応できておりケアプランも立て易くなった。
- ・ベッド上センサーを使用していた利用者様に関してはこれまで誤作動も多く、職員が訪室することによって利用者様が覚醒してしまい持続睡眠の妨げになることも多かった。また、利用者様のトイレ希望等にも早く対応できるようになった。
- ・職員の過度な訪室や見守りが減少し精神的負担が減った

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人葆光会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム藤美苑)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守りケアシステム M2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年 // 月2/日	1台	令和1年11月21日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

従来のベッド上センサーと床マットセンサー使用対象のご利用者様に使用している。
 今回の介護ロボットには4つのモード（動き出し、起き上がり、端座位、離床）が搭載されている為、利用者様のADLに合わせて1人の利用者様を対象に使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- マット式センサーと違い利用者様が予想範囲外の位置からベッドを降りる際に起きていた事故は防止できている。
- 4段階のモード（動き出し、起き上がり、端座位、離床）それぞれに3段階の感度が決められる為、様々な状態の利用者のシチュエーションほぼ全てに対応しておりケアプランも立て易くなった。
- ベッド上センサーを使用していた利用者様に関してはこれまで誤作動も多く、職員が訪室することによって利用者様が覚醒してしまい持続睡眠の妨げになることも多かった。また、利用者様のトイレ希望等にも早く対応できるようになった。
- 職員の過度な訪室や見守りが減少し精神的負担が減った

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 華陽会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム サービスネットワーク南陽)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
介護施設見守り	見守りケアシステムM2		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年10月9日	2台	令和1年11月29日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・見守りケアシステムM2（センサー内蔵ベッド）導入以前はセンサーマットで対応していたが、見守りケアシステムM2（センサー内蔵ベッド）を導入した事で利用者の離床までの予測時間や身体状況に応じて徘徊、転倒、転落防止に役立てている。

1. 見守りケアシステムM2（センサー内蔵ベッド）使用者の選定
(転倒、ベッドから転落リスクの高い方を対象に使用)
2. 見守りケアシステムM2（センサー内蔵ベッド）使用者の導入後の評価・検証を実施
3. 転倒、転落リスクが高い利用者を検討し、事故リスクの高い利用者を優先して使用できるように検討しベッドの変更を行う。

【介護ロボットの導入効果】

- ・今まで利用者の夜間覚醒に気づくことに遅れてベッドから転落することがあったが、見守りケアシステムM2（センサー内蔵ベッド）導入前後を比較すると利用者の動きに合わせて通知モードを設定（動き出し、起き上がり、端坐位等）しているため、状況把握がしやすく転倒・転落事故が減少している。また、職員の心理的な不安や負担の軽減にも繋がっている。
- ・見守りケアシステムM2（センサー内蔵ベッド）の導入によって、職員に対して利用者の行動を観察するように意識付けることができ、ヒヤリハットや事故報告書等の分析に注力できるようになった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名（社会福祉法人和敬会）

事業所名（特別養護老人ホームなごみの郷）

サービス種別（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月26日	3台	令和元年9月26日	年月日から 年月日まで

【介護ロボットの使用状況】

導入ユニットは特定せず、必要度の高い入居者に対し使用している。

既に記録関係はICT化が完了しており、記録用に使用するipadやパソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。また、看取り期の入居者についても、スタッフの精神的な安心を得られるような活用がされている。

その他、一部離床センサーに近い形での活用も可能であることから、睡眠状況の把握に止まらず、センサー機能としても有効活用している。

【介護ロボットの導入効果】

夜間帯における、定時の体位交換などについて、これまでには入居者の睡眠を妨げることもあったが、導入により睡眠を妨げることのない対応が多くみられるようになり、入居者の安眠に繋がっている。スタッフについても、過度な居室への訪室が減少したという効果もあった。また、特に看取り期の方へのケアに有効的に使用している。

上記効果により、「安眠を妨げないことによる安心」、「心拍数や呼吸数をリアルタイムで把握できることで、看取り期の入居者に対する安心」等が得られ、スタッフの精神的な負担軽減効果もあった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名（社会福祉法人和敬会）

事業所名（なごみの郷ショートステイ）

サービス種別（短期入所生活介護）

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月26日	1台	令和元年9月26日	年月日から 年月日まで

【介護ロボットの使用状況】

必要度の高い利用者や利用日数の比較的長い利用者に対し使用している。

既に記録関係はICT化が完了しており、記録用に使用するipadやパソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。

その他、一部離床センサーに近い形での活用も可能であることから、睡眠状況の把握に止まらず、センサー機能としても有効活用している。

【介護ロボットの導入効果】

ショートステイの場合、在宅からの環境の変化により、寝付けない利用者もいるため、睡眠されている場合には、せっかくの睡眠を妨げることは避けたいことから、睡眠を妨げることのない対応により、安眠を得られたという効果は大きい。過度な居室への訪室が減少したことも睡眠を守る一助になっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名（社会福祉法人和敬会）

事業所名（グループホームなごみの郷）

サービス種別（認知症対応型共同生活介護）

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月26日	2台	令和元年9月26日	年月日から 年月日まで

【介護ロボットの使用状況】

導入ユニットは特定せず、必要度の高い入居者に対し使用している。

パソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。

その他、心拍数、呼吸数、動作状況をリアルタイムで把握し、業務効率化に繋げている。

【介護ロボットの導入効果】

睡眠、覚醒データを一定期間把握できることで、その方の睡眠リズムを把握することができ、当該ロボットを他の入居者が使用している際にも、ある程度の夜間帯の訪室時間やトイレ介助等の目安を把握することができた。これにより、安眠だけでなく、スタッフの夜間帯業務の効率化という効果があった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人ふたば福祉会)
事業所名 (特別養護老人ホームウィローふたば)
サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月 27 日	2台	令和元年 9月 20 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・夜間従事者の見守り業務の負担軽減と効率化につながっている。
- ・看取り対象利用者に対しては、終末期ケアの身体状況の把握により異常の早期発見が可能になっている。

【介護ロボットの導入効果】

- ・介護従事者の見守り業務の負担軽減や離床時の訪室など不用意な業務が軽減されている。
- ・終末期ケアでは変化しやすい入居者の身体状況がリアルタイムで確認できることで、介護従事者の見守りに対する不安軽減につながっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 エール西尾)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 三和の里)
 サービス種別 (地域密着型特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム 「眠りスキャン」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月18日	3セット	令和元年9月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

睡眠状態や生活リズムの把握により、日常生活リズムを整え転倒のリスク回避の支援に努める。
 以後の使用に当たっては支援チームでアセスメント後、必要性がある場合のみ使用。

*プライバシーに配慮した支援内容とする

看取り対応者の状態観察や支援内容等のカンファレンス等の資料として使用（脈拍・呼吸数）

【介護ロボットの導入効果】

- ①個別支援計画の資料 睡眠状態や生活のリズムの把握
 (眠剤の薬効の評価 主治医へ提出 B P S Dの対応)
 - ②覚醒、離床時の起居・移動動作不安定対象者の転倒防止と迅速な対応
 - ③体調不良者や看取り対象者の状態観察や体調の変化の早期発見
- 上記課題のエビデンスとして一資料となっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 エール西尾)
 事業所名 (小規模多機能ホーム 三和の里)
 サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム 「眠りスキャン」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月18日	1セット	令和元年9月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

新規利用者に適宜使用。

睡眠状態や生活リズムの把握により、日常生活のリズム整え、転倒のリスク回避の支援に努める。
 以後の使用に当たっては支援チームでアセスメント後、必要性がある場合のみ使用。

*プライバシーに配慮した支援内容とする

【介護ロボットの導入効果】

- ①個別支援計画の資料 睡眠状態や生活のリズムの把握
 (眠剤の薬効の評価 主治医へ提出 B P S Dの対応)
- ②覚醒、離床時の起居・移動動作不安定対象者の転倒防止と迅速な対応
- ③体調不良者や看取り対象者の状態観察や体調の変化の早期発見
 上記課題のエビデンスとして一資料となっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人弥富福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム輪中の郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズ (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月29日	8	令和元年10月29日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- センサー内蔵ベッドを8台導入。2階で6台、3階で2台使用している。
- 認知症がありナースコールの理解がなく、下肢筋力低下がみられる方で多動傾向にある方の夜間の転倒・転落防止を目的として使用している。
- 利用者様の睡眠状況の把握をするために使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- 従来のセンサーマット使用では、端座位の状態でのセンサー反応があり、職員が訪室するまでの間に転倒がみられていたが、センサー内蔵ベッドを使用することで、訪室までの時間が短縮され、転倒されている状態での発見ということがなくなった。
- センサー内蔵ベッドを使用したことで、利用者様の睡眠のリズムをつかみやすくなった。その結果、ケアのタイミングも図ることができ、効率的に業務を進めることもできるようになった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人弥富福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム輪中の郷)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズ(パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月29日	3	令和元年10月29日	令和 年 月から 令和 年 月まで

【介護ロボットの使用状況】

- 認知症がありナースコールの理解がなく、下肢筋力低下がみられる方で多動傾向にある方の夜間の転倒・転落防止を目的として使用している。
- 新規の利用者様の睡眠状況や行動観察の把握をするために使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- 従来のセンサーマット使用では、端座位の状態でのセンサー反応があり、職員が訪室するまでの時間に転倒がみられていたが、センサー内蔵ベッドを使用することで、訪室までの時間が短縮され、転倒されている状態での発見ということがなくなった。
- センサー内蔵ベッドを使用したことで、新規の利用者様の睡眠のリズムや昼夜の行動観察を行なうことができ、ケアのタイミングを図ることにより、効率的に業務を進めることもできるようになった。また、ご家族への利用状況の報告の導入前より詳しく説明することができる。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人等生会)
 事業所名 (特別養護老人ホームかくれんぼ)
 サービス種 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月1日	3台	令和元年9月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

令和元年10月中旬以降に、メーカー担当者より2回に分けて勉強会を実施して、11月1日より正式に導入を行う。基本的にはユニット毎に各1台設置し、夜間トイレ回数が多く転倒のリスクの高い方の入眠パターンの確認や、認知症で夜間多動な方の睡眠状態の確認、体調を崩されている方の夜間の状態確認を目的に利用している。

【介護ロボットの導入効果】

実際に現場での効果は以下の通りである

- ・夜間自分でベッドから離床して転倒するリスクのある方に対して、入眠状態が確認できるので、頻回な居室訪問による見守りを減らすことができ、夜勤者の負担を減らすことができた。
- ・入居初期の方に使用することにより、夜間の行動パターンの情報を収集することができた。
- ・体調不良の方や見取り期の方に使用することにより、昼夜臥床時の呼吸状態等がモニターで確認でき、スタッフに安心感を与え精神的な負担の軽減に繋がっている。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人等生会)
 事業所名 (ショートステイかくれんぼ)
 サービス種 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月1日	1台	令和元年9月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

令和元年10月中旬以降に、メーカー担当者より2回に分けて勉強会を実施して、11月1日より正式に導入を行う。利用者9名に対して1台設置し、主に初回利用の方を中心に使用して、夜間の睡眠状態の確認や排泄等の夜間の行動パターンの把握を目的に使用する。

【介護ロボットの導入効果】

実際に現場での効果は以下の通りである

- ・初回利用の方は情報も十分でないことから、眠りスキャンを使用することにより夜間の睡眠の状態が把握でき、適切なおむつ交換が実施できた。また、同時に夜間自分で離床し転倒のリスクのある方に対しても早めに訪室を行いことにより転倒防止に繋がった。
- ・体調不良の方に使用することにより、夜間の呼吸状態等がモニターで確認でき、夜勤者の精神的な負担にも繋がっている。
- ・入眠状態をデータとしてとりだせるので、ユニットのカンファレンス等に活用することができた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人あぐりす実の会)
 事業所名 (高齢福祉施設 大地の丘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り	見守りシステム Neos + Care		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月20日	10台	令和元年12月20日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・入居者の生活リズムの把握。
- ・訪室のタイミングの状況把握
- ・睡眠状況の確認
- ・覚醒時の声掛けなどの介護タイミング利用
- ・睡眠状況を把握し、眠りに妨げにならないよう、訪室しおむつ交換を実施する。
- ・入眠状況の把握。

【介護ロボットの導入効果】

- ・入所者の生活リズムの把握ができ、リアルタイムで睡眠状況が把握できる。
- ・入所者の睡眠状況の把握化でき入所者の睡眠を妨げが無い。
- ・職員の過度な訪室が減少し、入所者様の睡眠確保と、職員の精神的負担が軽減された。
- ・転倒の回数が減った。
- ・入眠状況が把握でき、ご家族様にも報告ができた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人あぐりす実の会)
 事業所名 (高齢福祉施設 大地の丘)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り	見守りシステム Neos + Care		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月20日	1台	令和元年12月20日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・入居者の生活リズムの把握。
- ・訪室のタイミングの状況把握
- ・睡眠状況の確認
- ・覚醒時の声掛けなどの介護タイミング利用
- ・睡眠状況を把握し、眠りに妨げにならないよう、訪室しおむつ交換を実施する。
- ・入眠状況の把握。

【介護ロボットの導入効果】

- ・入所者の生活リズムの把握ができ、リアルタイムで睡眠状況が把握できる。
- ・入所者の睡眠状況の把握化でき入所者の睡眠を妨げが無い。
- ・職員の過度な訪室が減少し、入所者様の睡眠確保と、職員の精神的負担が軽減された。
- ・転倒の回数が減った。
- ・入眠状況が把握でき、ご家族様にも報告ができた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム瀬戸苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りシステム	エスパシア (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月27日	10台	令和元年9月27日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

センサーマット(床に敷くタイプで、足がマットの上に乗ると鳴動する物)でのコール対応では、駆け付けても間に合わないことがある。

入居者様の状態やリスクに合わせて「起き上がり」「端座位」「離床」と設定を選択し必要に応じ、時間帯や体調に合わせて設定を変更し使用している。

また、センサーマットでの反応よりも早く対応できるようになった。

10名の対象者のうち、「端座位」設定は7名、「離床」設定は2名、「起き上がり」設定は1名となっている。

【介護ロボットの導入効果】

センサーマットと比較すると、入居者様の動き始めの行動に対応できるようになったため、転倒・転落による事故の報告件数が減少傾向にある。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム豊川苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りシステム	エスパシア (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年9月27 日	10	2019年9月27日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

ナースコールを押すことが難しい方でベッドからの転落、転倒の危険がある利用者様に対して、センサーべッドとして使用。

多動でベッドから転落の危険がある利用者様。立位困難であるが理解できず、ご自分で車いすに移乗しようとされる利用者様。首の亜脱臼があり転倒などの外傷で大事に至ってしまう危険のある利用者様に使用している。

【介護ロボットの導入効果】

利用者様ごとにセンサーの設定を決めることができるために、利用者様の行動を著しく制限することなく対応することができ、ベッドからの転落、転倒事故が減少した。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム西尾苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りシステム	エスパシア (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年9月27日	5	2019年9月27日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ⑤ ナースコールで呼ぶことなく自分でポータブルトイレへ移乗することがあり使用。起き上がり3秒で設定し終日使用。
- ⑥ (伊藤) 視力が弱く多動で歩行にふらつきがあり、転倒を繰り返していると入居前に情報があった。本人の行動に対応できるように入居時に導入した。端座位3秒で終日使用。
- ⑦ ナースコールで呼ぶことなく自分でポータブルトイレへ移乗することがあり使用。端座位設定で終日使用。
- ⑧ ベッドからの転落、転倒を防止するために使用。寝返りで設定し、ベッドに入る時も知りたいため常時使用。
- ⑨ (本田) ベッド⇒車椅子の以上は自身ができるが安全のために移乗の際に介護職員を呼んでもらっていた。11月頃より情緒不安定、認知症の進行が感じられるようになりベッドから床に降り、尻でいざって出てくることが頻回。本人と対話したが改善みられず見守りは困難の為、導入した。端座位3秒、終日使用。

【介護ロボットの導入効果】

- ⑤ 自らの移乗を防ぎ、事故予防に役立っている。
- ⑥ (伊藤) 就寝時、臥床介助しても起きててしまうことが多い本人に動きがあったことにすぐに気付くことができる。すでに歩き出してしまっていることが多いがトラブルや事故を未然に防ぐことができている。
- ⑦ 自らの移乗を防ぎ、事故予防に役立っている。
- ⑧ 本人が動くことで反応するため、転落、転倒はなくなっている。
- ⑨ (本田) 本人が床から降りてしまう前に訪室して対応することができるようになった。また「どう行動したら良いかわからない」といった本人の不安を軽減させることに効果があったのではないかと思う。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム佐屋苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りシステム	エスピシア (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年9月27日	2台	令和1年9月27日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 認知症でベッドから転落後、骨折し車椅子での生活になった利用者。
- 立位不安定でベッドから転倒、転落リスクの高い利用者に使用している。また、体調不良時に多動になる方に対しても使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- センサーマットより早い段階でコールが鳴るため、ベッドから降りようとする利用者の転倒、転落防止につながっている。
- コールが必要以上になる事はあるが、利用者が居室にいることが確認できて良いと思った。
- コールが鳴った後、本人の返事の声のトーンでその時の精神状態が落ち着いているのか興奮しているのかもわかる。
- 転倒、転落後に家族へ説明する際、ベッドを使用することで家族への安心感は得られると思う。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 一期一会福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 岩倉一期一会荘花むすび)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り	高齢者見守りシステム「見守りライフ」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月24日	8台	令和元年9月24日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ベッドから立ち上がり転倒が考えられるご入居者様8名に使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- ご入居者様がベッド上で起き上がられたときにナースコールが鳴るため、職員がかけつける時間が確保でき転倒の防止に繋がっている。
- 今までのセンサーの場合ご入居者様が触れなかった場合等反応しないことがあったが、ベッドのキャスターにセンサーが設置されているため、離床を把握できる。
- ベッドサイドにコードやマットが無いため、躊躇の転倒も起こりにくい。
- 必要以上にご入居者様の安全確認が無いため、安眠に繋がると共に、介護業務の軽減になっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)
 事業所名 (明範荘養護老人ホーム)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援システム	眠りスキャン (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
R1年10月11日	3台	R1年10月11日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 併設施設の特別養護老人ホームやショートステイでの導入・運用実績を踏まえて、初めて3台を導入した。要介護者を対象として設置し、iPad、ノートPCを利用して睡眠状況等をモニターしている。

<活用方法>

- 睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。
- 睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。
- 認知症や精神疾患がある方の睡眠状況や夜間から朝方の行動パターンを把握する。
- 離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。

【介護ロボットの導入効果】

- 利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。
- 利用者様の安眠が保てるようになった。
- 職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。
- 認知症や精神疾患がある方のリズムを把握し、効果的に夜間巡回できた。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)
 事業所名 (明範荘短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援システム	眠りスキャン (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
R1年10月11日	1台	R1年10月11日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 当該導入機を含め、施設（特別養護老人ホーム・ショートステイ）内の眠りスキャン整備台数が32台となり、各ユニットに2台以上を配置している。ユニット内ではiPad、介護ステーションではPCを利用して睡眠状況等をモニターしている。また、介護記録ソフトと連携し、介護記録に定時巡回状況（在床・心拍・呼吸）やアラート設定（離床・呼吸や心拍の増減）した情報が自動記録できる仕組みとなっている。

<活用方法>

- 睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。
- 睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。
- 睡眠状況を把握し、朝の起床を適切な時間に促す。
- 心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。
- 利用時に使用し、睡眠リズムをはじめとして生活状況の把握を行う。
- 認知症等の精神不安定な利用者に使用し、夜間の異常行動をタイムリーに把握する。
- 離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。

【介護ロボットの導入効果】

- 利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。
- 利用者様の安眠が保てるようになった。
- 職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。
- 夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。
- 呼吸や心拍数の状況から、熱発や痰がらみ等の体調変化を把握できるようになった。
- ケアマネジャーや家族へ実際の睡眠状況をデータ提供できた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム川名山荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援システム	パラマウント株式会社 眠りスキャン		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月30日	8台	令和元年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 当該導入機を含め、施設（特別養護老人ホーム・ショートステイサービス）内の眠りスキャン整備台数が23台となり、ユニットに平均2台以上を配置している。

<活用方法>

- 睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。
- 睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。
- 睡眠状況を把握し、朝の起床時間を適切な時間に促す。
- 心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。
- 看取り介護時に使用し、睡眠状況・心拍数・呼吸状態等のデータに基づいた対応を行う。
- 離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。

【介護ロボットの導入効果】

- 利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。
- 利用者様の安眠が保てるようになった。
- 職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。
- 夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。
- 呼吸や心拍数の状況から、痰がらみ・肺炎・除脈等の変化を把握できるようになった。
- 看取り介護時、冷静な対応をとることができた。
- 転倒の回数が減少した。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)
 事業所名 (ショートステイ川名山荘)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援システム	パラマウント株式会社 眠りスキャン		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月30日	1台	令和元年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 当該導入機を含め、施設（特別養護老人ホーム・ショートステイサービス）内の眠りスキャン整備台数が23台となり、ユニットに平均2台以上を配置している。

<活用方法>

- 睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。
- 睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。
- 睡眠状況を把握し、朝の起床時間を適切な時間に促す。
- 心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。
- 看取り介護時に使用し、睡眠状況・心拍数・呼吸状態等のデータに基づいた対応を行う。
- 離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。

【介護ロボットの導入効果】

- 利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。
- 利用者様の安眠が保てるようになった。
- 職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。
- 夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。
- 呼吸や心拍数の状況から、痰がらみ・肺炎・除脈等の変化を把握できるようになった。
- 看取り介護時、冷静な対応をとることができた。
- 転倒の回数が減少した。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)
 事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援システム	眠りスキャン (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
R1年10月11日	11台	R'1年10月11日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 当該導入機を含め、施設（特別養護老人ホーム・ショートステイ）内の眠りスキャン整備台数が32台となり、各ユニットに2台以上を配置している。ユニット内ではiPad、介護ステーションではPCを利用して睡眠状況等をモニターしている。また、介護記録ソフトと連携し、介護記録に定時巡回状況（在床・心拍・呼吸）やアラート設定（離床・呼吸や心拍の増減）した情報が自動記録できる仕組みとなっている。

<活用方法>

- 睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。
- 睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。
- 睡眠状況を把握し、朝の起床を適切な時間に促す。
- 心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。
- 入所初期に使用し、睡眠リズムをはじめとして生活状況の把握を行う。
- 看取り期に使用し、睡眠・心拍・呼吸状態のデータに基づいた対応を行う。
- 認知症等の精神不安定な利用者に使用し、夜間の異常行動をタイムリーに把握する。
- 離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。

【介護ロボットの導入効果】

- 利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。
- 利用者様の安眠が保てるようになった。
- 職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。
- 夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。
- 呼吸や心拍数の状況から、熱発や痰がらみ等の体調変化を把握できるようになった。
- 看取り介護時、冷静な対応をとることができた。
- 看取り期にデータを活用して臨終期を予測し、最期の場面の家族立会いが実現できた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人碧晴会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム川口結いの家)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りシステム	パラマウントベット社 エスパシアシリーズベット (KA-N1480F)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年1月10日	10台	令和元年10月9日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

入居者様及び家族様に見守りシステムの使用目的の同意をいただき導入開始。

センサー内蔵式のベットとナースコールを連動させ、各居室に配置。

見守りセンサーを稼働させ見守り開始いたしました。

【介護ロボットの導入効果】

今回導入の見守りセンサーはベットに内蔵されているため、速い段階での体動を感知します。かけつけのタイミングが早くなつたことにより、ベッドサイドでの転倒リスクの軽減が推察される。

また内蔵荷重センサーにより、誤作動も少なく、正確な体動検知がされた。

それにより、夜間時間帯での見守り業務が効率化され、介護職員の負担が軽減された。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知玉葉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム第二尾張荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りシステム	エスパシアシリーズ KA-N1470R (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月28日	14	令和元年11月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・ベット上での体動が激しくベットからの転落リスクが高い方
- ・排泄行為は自立しているが、夜間トイレ使用後に自分のベットの場所がわからなくなってしまわれる方
- ・床センサーを設置していたがそれを避けてベットから降りられることがあった方
- ・車いすをベット横に設置している方で乗り移りの介助が必要な方
- ・ベットからの起き上がりはできるが、立位保持や歩行が不安定で付き添い介助が必要な方
- ・夜間頻繁に端座位になられる方
- ・端座位からの動き出しが速くセンサーマット作動後に駆けつけると既に歩かれている方

【介護ロボットの導入効果】

- ・ご利用者の状態や動きに合わせてセンサー作動のタイミングが設定できるので適切なタイミングでの訪室や誤作動の防止につながり訪室回数が減ったが、介助には間に合うようになり転倒リスクの軽減と職員の精神的負担の軽減につながった
- ・端座位の状態で駆けつけることができるので歩行の介助に間に合うようになった。
- ・コントロールボックスが利用者の目の届かないところに設置できるので利用者が誤って触ることが無いためトラブルの防止につながっている。
- ・ベットが超低床になり衝撃吸収マットとの併用で転落の際の怪我のリスクが減った
- ・センサーマットの時は跨いでしまい作動しないこともあったがベット自体にセンサーがあることで確実に行動が確認できるようになった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知玉葉会)
 事業所名 (第二尾張荘短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りシステム	エスパシアシリーズ KA-N1470R (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月28日	2	令和元年11月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・ベット上での体動が激しくベットからの転落リスクが高い方
- ・夜間疲れずに頻繁に端座位になられ、方立位保持や歩行が不安定で転倒リスクが高く付き添い介助が必要な方
- ・起き上がりや端座位からの動き出しが速くセンサーマット作動後に駆けつけると既に歩かれている方

【介護ロボットの導入効果】

- ・ご利用者の状態や動きに合わせてセンサー作動のタイミングが設定できるので適切なタイミングでの訪室や誤作動の防止につながり訪室回数が減ったが、介助には間に合うようになり転倒リスクの軽減と職員の精神的負担の軽減につながった
- ・立ち上がる前に駆けつけることができるので歩行の介助に間に合うようになった。
- ・機械を変えることなく、夜間の作動状況により速やかに設定変更ができるので状況の変化に対応しやすくなった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りベッド	見守りケアシステムM2 ベッドに内臓されたセンサーにより、ベッド上の利用者の動きを判断し、見守りが必要な利用者の動きに合わせて自動で感知し、ナースコールに発報する。		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月30日	6台	令和元年10月30日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

ロボット型ベッドの使用効果についての表を作成、センサー効果・改善（誤報の有無）夜間の転倒リスクの軽減・利用者の状況把握に関する事を、具体的に記入できるチェック表にし、毎日行っている。

【介護ロボットの導入効果】

ベッドからどの位置で利用者が転倒への危険性が高くなるかを観察した時、単独のセンサーでは誤報や電源の入れ忘れ、利用者が床センサーを跨いでしまってコール反応が起きないなどの現象があった。このことから、介護側のストレスも大きくなっていた。今回導入した見守りベッドは、ベッド上で利用者の動きに合わせて自動感知し、また、見守りを同時に行ってくれる事で、職員の気持ちにも余裕が持てるようになった。特に夜間は職員数が少なくなるが、介護ロボットを導入することで転倒リスクの危険性も減少し、誤報も報告されていない。

当施設では見守りケアシステムの有用性を評価して毎年数台ずつ導入を進めているが、ソフト・ハード面とも年々アップデートされており、互換性を保ちながらもより使いやすい仕組みが提供されている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人勅使会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム第二勅使苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り	高齢者見守りシステム 見守りライフ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月30日	6	令和元年10月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・現在導入した全6台をすべて使用しています。見守りライフ使用に関しては、必要になっている方をピックアップ、もしくは各入居者の担当が選出する形として、検討会を行い導入しています。
- ・使用中の入居者に対し、継続して見守りライフが必要かどうか定期的に話し合い再検討を行うことで使用している方の状況把握ができるよう努めています。

【介護ロボットの導入効果】

- ・夜間帯の見守りをモニター越しに行うことが出来、転倒リスクが高い方へのアプローチが早くなっています。それに伴い介護側の負担軽減や、夜間帯の見守りに対する安心感につながっています。
- ・各入居者に合わせセンサーを切り替えることが出来るため、見守りライフを導入した入居者の転倒やすり落ち事故が格段に減少しています。
- ・日中に見守りが困難な状況でも、臥床しゆっくり休息していただく事が出来ています。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 王寿會)
 事業所名 (グループホーム あおぞら)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠り SCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11月 1日	2台	令和元年 11月 1日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・導入初日より 2名の方に使用。
- その後は 4名の方に使用を変更して睡眠状況の把握を行っている。

【介護ロボットの導入効果】

- ・夜間不眠傾向の方に使用を行い、睡眠状況の把握を行い、巡回やトイレ誘導時間の変更を行うと不眠が改善され転倒や転落のリスクが低下、また日中の覚醒時間が増加して排泄や入浴時の誘導がスムーズに行える回数が増加しており介護負担軽減に繋がっている。
- ・眠り SCAN の説明をご家族に行うと安心して頂ける。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 王寿會)
 事業所名 (特別養護老人ホーム幸王寿園)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠り SCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月1日	3台	令和元年11月1日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・導入初日より3名の方に使用。
 睡眠状況把握が行えた方から順次違う方の使用に変更を行っている。
 6名の方の睡眠傾向について把握が行えている。
 看取り期の方に使用して睡眠・脈拍・覚醒の把握・ご家族様への状態説明に
 使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- ・睡眠状況の把握を行う事により、トイレ誘導や巡回を必要時に必要な回数を
 行う事に繋がっており転倒・転落のリスク軽減が出来ている。
 夜間の睡眠状況が良くない方には日中の安静時間調整の目安にもなり、
 体調を崩されることが減少しており、介護負担軽減に繋がっている。
 看取り期の状態が数値やグラフで把握できるため、介護士の精神的不安軽減に
 繋がっている。
 QOL向上に繋がっている。
- ・眠り SCAN の使用をご家族の方に説明を行うと安心をして頂ける。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名(社会福祉法人昌明福祉会)

事業所名(特別養護老人ホーム港寿楽苑)

サービス種別(介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	エスパシアシリーズ3モーター電動ベッド KA-N1570F (パラマウント株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年2月25日	6	令和2年2月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

コロナ対応もあり直接の説明はなかなか受けられず、口頭での説明で使用開始。後日、別の施設で再度利用説明を受ける。

- ・その方のリスクに合わせコールを調整
- ・コールに合わせ職員が動き対応が早くなつた

【介護ロボットの導入効果】

- ・以前は手動式のベッドであったため、電動になりとても助かっている
- ・都度、必要な方はセンサーマットを準備するなどの手間が省けている
- ・転倒リスクが高い方に使用しているが職員が訪室する根拠が明確になり安心に動けるようになつてている

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名(社会福祉法人昌明福祉会)

事業所名(港寿楽苑)

サービス種別(短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	エスパシアシリーズ3 モーター電動ベッド KA-N1570F (パラマウント株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年2月25日	1	令和2年2月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

コロナ対応もあり直接の説明はなかなか受けられず、口頭での説明で使用開始。後日、別の施設で再度利用説明を受ける。

- ・その方のリスクに合わせコールを調整
- ・コールに合わせ職員が動き対応が早くなつた

【介護ロボットの導入効果】

- ・以前は手動式のベッドであったため、電動になりとても助かっている
- ・都度、必要な方はセンサーマットを準備するなどの手間が省けている
- ・転倒リスクが高い方に使用しているが職員が訪室する根拠が明確になり安心に動けるようになっている

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名（社会福祉法人昌明福祉会）

事業所名（特別養護老人ホーム第Ⅱ港寿楽苑）

サービス種別（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	眠り SCAN NN-1310 (パラマウント株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月27日	3	令和元年9月27日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・終末期により、常時観察が必要となった方。
- ・新規入居などで睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用を開始。
- ・入居者のケアプラン立案の参考の一つとして、眠り SCAN から得られた睡眠データを活用している。
- ・状態の確認や覚醒状態のデータの収集を行い、24時間シートやケアの向上に活用している。

【介護ロボットの導入効果】

- ・終末期の方など常時観察が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認する事が出来る為、職員に安心感を与える事が出来た。
- ・ある程度の傾向が出れば他業務に入るタイミングも考慮出来、夜間帯にフロアで一人業務の時に対象者の方の状態変化にもコールで把握する事が出来るので、職員の精神的負担が軽減出来る。
- ・終末期の方は日中でも覚醒状態が把握出来ると入居者の眠りを妨げる事無く、覚醒リズムを崩さず介助が行える。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名（社会福祉法人昌明福祉会）

事業所名（第Ⅱ港寿楽苑）

サービス種別（短期入所生活介護）

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	眠り SCAN NN-1310 (パラマウント株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月27日	1	令和元年9月27日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 必要度の高い利用者やロングショート利用の方に対し利用している。
- 対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。

【介護ロボットの導入効果】

- 睡眠障害がある方など、データを見ることにより過度な訪室を減らすことが出来た。
臥床してから入眠されるまでどれほどの時間を要しているか見て取れる事により
臥床時間を調整し夜間しっかり眠れるよう支援する事が出来た。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名（社会福祉法人昌明福祉会）

事業所名（小規模多機能型居宅介護 結）

サービス種別（小規模多機能型居宅介護）

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	エスパシアシリーズ3モーター電動ベッド KA-N1570F (パラマウント株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年2月25日	1	令和2年2月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 立位が不安定だが立ち上がりの多い方に使用。

【介護ロボットの導入効果】

- 今までセンサーマットでの対応で鳴るタイミングが均一でしたが、色々と設定できるため早めに訪問できるなどできています。
- 事故が減る効果があるように感じます

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人昌明福祉会)
 事業所名 (グループホーム結)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	エスパシアシリーズ3モーター電動ベッド KA-N1570F (パラマウント株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年2月25日	1	令和2年2月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・転倒リスクの高い入居者様
- ・認知症で、ナースコールを理解されない方、転倒の危険性はあるが自分で立ち上がる入居者様
- ・ベッドから車椅子へ乗り損ねて転倒するリスクのある方で、車椅子のブレーキ忘れが多々ある入居者様

【介護ロボットの導入効果】

- ・操作がパネルに集約されており、コードも少なくコードに引っかかるリスクも低くなるし操作も簡単である。
- ・他の入居者様の居室にいる際にセンサーが反応し、訪室すると端座位になっている事があつたが、トイレの時間帯など行動パターンが把握できるようになった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム光楽苑)

サービス種別 (地域密着型介護老人施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月17日	3台	令和元年9月4日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 新規の入居者の方で生活リズムを把握したい方
- 排泄介助のタイミング（特に夜間）を把握したい方
- 転倒や転落のリスクのある方などを中心に活用している。
- 介護職員、看護職員、生活相談員などの多職種で定期的に使用状況を検討し、必要に応じて対象となる方を見直しし、内容についてもデータの解析を行うようしている。
- カンファレンスではグラフ化されたデータを使用し、ケアプランの立案の参考にしている。

【介護ロボットの導入効果】

- 使用前に転落事故が続いた方に使用したところ、転落事故の軽減につながっている。転落事故の防止につながることで、職員の不安やストレスの軽減も図れている。
- 睡眠リズムを把握することで、夜間巡回や排泄介助などの訪室する回数や時間についての目安を知ることができ、入居者の方にとっても職員にとっても負担の軽減につながっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (ショートステイ光楽苑)
 サービス種別 (短記入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月17日	1台	令和元年9月4日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 利用者の方で生活リズムを把握したい方
- 排泄介助のタイミング(特に夜間)を把握したい方
- 転倒や転落のリスクのある方などを中心に活用している。
- 介護職員、看護職員、生活相談員などの多職種で定期的に使用状況を検討し、必要に応じて対象となる方を見直しし、内容についてもデータの解析を行うようになっている。
- サービス担当者会議等で参考となるように、ご家族やケアマネの方に夜間の様子等の睡眠状況をお伝えしている。

【介護ロボットの導入効果】

- 転落事故のリスクの高い方の転落事故の軽減につながっている。
転落事故の防止につながることで、職員の不安やストレスの軽減も図れている。
- 睡眠リズムを把握することで、夜間巡回や排泄介助などの訪室する回数や時間についての目安を知ることができ、利用者の方にとっても職員にとっても負担の軽減につながっている。
- ご自宅とは違う慣れない環境での泊まりとなるため、送り出したご家族もどのように過ごしたか心配されていることがある。夜間の睡眠の様子がデータ化されることで、きちんと睡眠が取れていることを確認することができ、安心していただくことができている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム百華苑)

サービス種別 (地域密着型介護老人施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月17日	3台	令和元年9月4日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・新規の入居者の方で生活リズムを把握したい方
- ・排泄介助のタイミング（特に夜間）を把握したい方
- ・転倒や転落のリスクのある方などを中心に活用している。
- ・介護職員、看護職員、生活相談員などの多職種で定期的に使用状況を検討し、必要に応じて対象となる方を見直しし、内容についてもデータの解析を行うようにしている。
- ・カンファレンスではグラフ化されたデータを使用し、ケアプランの立案の参考にしている。

【介護ロボットの導入効果】

- ・使用前に転落事故が続いた方に使用したところ、転落事故の軽減につながっている。転落事故の防止につながることで、職員の不安やストレスの軽減も図れている。
- ・睡眠リズムを把握することで、夜間巡回や排泄介助などの訪室する回数や時間についての目安を知ることができ、入居者の方にとっても職員にとっても負担の軽減につながっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (ショートステイ百華苑)
 サービス種別 (短記入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月17日	1台	令和元年9月4日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 利用者の方で生活リズムを把握したい方
- 排泄介助のタイミング（特に夜間）を把握したい方
- 転倒や転落のリスクのある方などを中心に活用している。
- 介護職員、看護職員、生活相談員などの多職種で定期的に使用状況を検討し、必要に応じて対象となる方を見直しし、内容についてもデータの解析を行うようにしている。
- サービス担当者会議等で参考となるように、ご家族やケアマネの方に夜間の様子等の睡眠状況をお伝えしている。

【介護ロボットの導入効果】

- 転落事故のリスクの高い方の転落事故の軽減につながっている。
転落事故の防止につながることで、職員の不安やストレスの軽減も図れている。
- 睡眠リズムを把握することで、夜間巡回や排泄介助などの訪室する回数や時間についての目安を知ることができ、利用者の方にとっても職員にとっても負担の軽減につながっている。
- ご自宅とは違う慣れない環境での泊まりとなるため、送り出したご家族もどのように過ごしたか心配されていることがある。夜間の睡眠の様子がデータ化されることで、きちんと睡眠が取れていることを確認することができ、安心していただくことができている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人みどりの里)
 事業所名 (特別養護老人ホーム笑いの家)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム「眠り SCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月9日	6台	令和元年9月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

看取り介護の対象者様、新規入所者様の睡眠状況及び生活リズムの把握、無呼吸がある方や夜間睡眠が不安定な方、活動的な方に使用している。

対象者様の必要なデータが取得できるか、看取り介護を終了するまでの間、約3ヶ月毎で対象者が変更となり、常時使用できている。

モニターに常時表示させており、必要な時に随時閲覧している。

【介護ロボットの導入効果】

- ・看取り介護開始に至るまでの睡眠、呼吸、心拍を常時取得、保存できるため、対象者様の状況、状態の流れが可視化でき情報の共有がしやすくなった。
- ・新規入所者様の様子が細かく拾え、データをプリントアウトすることで情報が職員全体に行き渡りやすくなった。統一したケアがしやすくなり、利用者様の安心感につながったと思われる。
- ・眠りに対する職員の意識向上につながっている。
- ・リアルタイムに対象者様の状態が表示されているため、その方に適した時間にケアが提供しやすくなった。
- ・異動や新入職員など、生活リズム等が把握できていない職員の安心感やスムーズな業務習得につながっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社 碧介護サービス)
 事業所名 (介護付有料老人ホーム みどりの家)
 サービス種別 (地域密着型特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り	見守り介護ロボット aams		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月 25日	3台	令和元年10月 25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

令和元年10月25日、業者より納品。職員に向けた使用説明後、設置を行う。

使用対象者は、転倒リスクの高い方・自身でナースコールを使用する事が困難な方など今までセンサーマットを使用していた方に使用。また夜間の睡眠状況の把握や看取り対象者が出た時に使用している。

※使用時はご入居者様及びご家族様に対し、介護ロボットの使用効果・目的をご説明し同意を得た上で使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- ・転倒リスクが高く今までセンサーマットを使用していた入居者様に対してはより早く対応できるようになった為、転倒リスクの軽減に繋がっている。
- ・新規入居者様に対しては夜間の睡眠状況や排泄のリズムを知ることにより、よりよいケアに繋げる事ができている。
- ・看取り対象者への使用ではリアルタイムで心拍・呼吸の状況がモニターで確認できるため、夜勤者の安心感や負担軽減になっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人東海)
 事業所名 (特別養護老人ホーム東海の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援機器		Neos+Care ネオスケア	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月30日	10台	令和元年9月30日	年月日から 年月日まで

【介護ロボットの使用状況】

導入したロボット特徴、使用する際のルールを周知し、導入における目的を達成するため使用している。

目的 通知機能により、ベッドからの離床、起居、離脱などの利用者様の状態を介護職員がいち早く確認できることで、見守り業務の効率化を図ることができるようになる。

特に転倒リスクの高い入所者様の状況の把握、見守りをし、ベッド臥床時からの転倒及び転落事故の発生を軽減させ、介護従事者の身体的及び精神的負担の軽減をする。

使用対象者 ナースコールを押すことができない入所者様や、押すことを忘れてしまう入所者様の中で特に転倒リスクの高い入所者様。

当施設は、従来型特別養護老人ホームで2フロアに分かれており、各フロアでそれぞれの名が使用している。

【介護ロボットの導入効果】

導入効果は次のとおりです。

- 1 端末を持って業務にはいることができるので、離れた場所にいても、センサーが検知した場合に、入所者様の様子を画面により確認ができることで次の効果がみられた。
 - (1) 状態を確認したうえで、優先順位をつけることができ適切な対応が可能になった。
 - (2) フロアを必要以上に走り回ることがなくなったため、身体的負担及び精神的負担を減らすことができた。
 - (3) 夜間帯等で、センサーベッド等を使用している際に訪室することで怒って不穏状態になるようなケースでは、センサーの検知後に画面で入所者様の様子を確認し、対応ができるため利用者への負担を減らすことができた。
 - (4) ネオスケアの起き上がり検知により、その後の行動への対応ができるようになったため転倒、転落事故は減らすことができた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (有限会社みふねの家)
 事業所名 (グループホームあさがお)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		a a m s /アアムス	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年11月5日	1台	令和1年9月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

昼夜逆転や排せつ障害のあるご利用者様を選定し居室で常時使用している。
 夜間帯、早朝等職員の見守りが手薄になりやすい時間帯で必要に応じて離床アラーム機能も
 使用し転倒・転落の予防に使用している。
 眠り状態・呼吸状態・体動の状況をデータとして可視化し確認することで夜間等のパット
 交換・トイレ誘導等のタイミングを把握し安眠の確保、職員の効率的な業務に役立てている。

【介護ロボットの導入効果】

ご利用者様が動かされた際にアラームがなることにより効率よく見守りが行え、転倒や
 転落の防止に役立っている。
 夜間などの睡眠や体動のデータが可視化され、パット交換やトイレ誘導のタイミングを効率
 よく設定できるので不必要的時間に訪問しなくてもよく業務の効率化が図れている。
 呼吸状態、脈拍数もデータから体調の変化の早期対応につながり、看護士とも情報共有でき
 るようになった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 来光会)
 事業所名 (介護老人福祉施設いわと)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りシステム	エスパシアシリーズ 超低床ベッド KA-N1470F		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年9月30日	1台	令和1年9月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

当施設ではセンサーマット数枚と、他に離床CATCHⅢが付いたベッドがあるが、さらにこのベッドは離床CATCHⅢを搭載した低床ベッドになるので、夜間などに多動でベッドからの転落の危険性が高い方に使用。

【介護ロボットの導入効果】

ベッドからのずり落ち、転落の危険性が高い方に使用。低床になっているので転落する事故は無くなりました。また起き上がりでセンサーの設定をしていると、早めに対応が可能になりより事故が減らせるようになった。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 昭徳会)

事業所名 (特別養護老人ホーム小原安立)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
介護業務支援	見守りライフ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月19日	8	令和 年 月 日	令和元年9月19日から 令和4年9月18日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・夜間に見守りが必要な入居者や、看取り対応の入居者に使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- ・夜勤者の精神的な負担軽減に役立っている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (セキスイオアシス(株))
 事業所名 (オアシスセンター)
 サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	センシングウェーブ(凸版印刷製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月25日	2台	令和元年10月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

小規模多機能の宿泊用のベッド2ヶ所に設置。

特に階を跨ぐ際の宿泊対応の時は常駐しない側の階、または歩行不安の利用者様を優先。

夜勤者の使用するPCに画面表示をすると共に、利用者様に応じたアラートを設定し

常時持ち歩いている携帯電話に送信する。

全員の設定として心拍数と呼吸回数を決め、利用者様ごとに変更するものとして、

離床、覚醒、入眠を設定。

【介護ロボットの導入効果】

利用者様の睡眠の深さ、入眠や覚醒のパターンを押さえることにより、

ケアの発生するタイミングを予想しやすくなった。

また、心拍数と呼吸を測ることができ、アラートを出せるため、夜勤者の心理的な不安をやわらげる効果があった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名(社会福祉法人 春生会)

事業所名(特別養護老人ホームあさひが丘)

サービス種別(介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守りライフ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月17日	10	令和元年10月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・入居者様のADL、ユニットの職員配置状況、ユニット内の居室の位置から、転倒リスクの高い入居者様やターミナル対象の入居者様に使用している。
- ・使用対象者については、リーダー会議にて対象者選定について展開し、ユニットリーダー・サブリーダーが中心となり選定している。また、使用者の変更については、随時ユニット内で協議し、ケアマネージャーとの情報共有後変更対応している。
- ・転倒リスクの高い入居者様には、ベット上での体位または離床タイミングでナースコールが鳴るように設定し、ベット上からの転落・転倒事故予防に目的で使用している。
- ・ターミナル対象の入居者様には、ベット上でのバイタルの把握、体重測定に使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- ・見守りライフ使用前には転倒リスクの高い入居者様には、人感センサーヤやセンサーマットを使用していたが、他の入居者様支援中で人感センサーの反応音が聞き取れない場合やセンサーマット反応時では訪室時に歩行されていたらと、対応が間に合わず事故やヒヤリハットとして報告が挙がってきていた。見守りライフ導入後は、ナースコールと連動し呼び出し音が鳴ることと、ベット上の入居者様の体位に合わせてナースコールが鳴るように設定されているため、早めに訪室対応することができ、転倒・転落事故、ヒヤリハットの減少に繋がっている。また、ベット上での状況把握が可能となつたため、夜勤を行う支援員の精神的負担軽減につながっている。
- ・ベット上での体重測定が可能となっているため、入居者様、支援員の負担軽減につながっている。
- ・ターミナル対象の入居者様のバイタルがパソコン上で確認でき、状態の把握がスムーズになつた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名(社会福祉法人 春生会)

事業所名(ショートステイしようなあさひが丘)

サービス種別(短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守りライフ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月18日	1	令和元年10月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・新規利用者の事前情報や、普段から利用される利用者の中から居室内での転倒リスクの高い方、昼夜逆転が見られる方に対して使用。リーダー、サブリーダーが中心となり使用する方を随時、変更し相談員へ報告している。
- ・転倒リスクの高い方には起き上がり時、又は寝返り時にコールが鳴るように設定している。人感センサーヤやセンサーマットでは、すぐに対応できない事もある為、早めに訪室し転倒を防ぐことを目的としている。
- ・昼夜逆転傾向の方については1日の睡眠時間のトータルを知る為に使用している。

【介護ロボットの導入効果】

・転倒リスクの高い方に対して、人感センサーヤやセンサーマットでは、ベッドに端座位になつた時にコールが鳴る為、訪室するまでの間に立ち上がって歩行されていることもあり、対応に間に合わないことがありヒヤリハットの件数も増えていた。見守りライフの導入後は起き上がり時にコールが鳴るように設定していた為、早めに訪室することができ転倒の予防、ヒヤリハットの減少に繋がった。

その結果として、職員は早めに訪室出来る安心感もあり、特に夜勤者については精神的な負担の軽減が出来た。

・昼夜逆転傾向にある方に対しては1日のトータル睡眠時間を把握することが出来た為、多職種(特に看護師)との連携がスムーズになり、ご家族様に対して利用期間中の様子を詳細に伝えることが出来るようになった。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名(社会福祉法人 春生会)

事業所名(特養じょうなあさひが丘)

サービス種別(介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守りライフ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月18日	10	令和元年10月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・生活情報から、入居者の居室内での転倒リスクの高い方やターミナル対応者に対して使用。各ユニットリーダー・サブリーダーが中心となり、使用する入居者を選定し、使用状況によってはその対象者を随時変更するようにしている。
- ・転倒リスクの高い方には起き上がり時、又は寝返り時にコールが鳴るように設定している。人感センサーやセンサーマットでは、すぐに対応できない事もある為、早めに訪室し転倒を防ぐことを目的としている。
- ・ターミナル対応者に関しては、脈拍等での状態把握を実施。
- ・昼夜逆転傾向の方については1日の睡眠時間のトータルを知る為に使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- ・転倒リスクの高い方に対して、人感センサーやセンサーマットでは、ベッドに端座位になった時にコールが鳴る為、訪室するまでの間に立ち上がって歩行されていることもあり、対応に間に合わないことがありヒヤリハットの件数も増えていた。見守りライフの導入後は起き上がり時にコールが鳴るように設定していた為、早めに訪室することができ転倒の予防、ヒヤリハットの減少に繋がった。
- その結果として、職員は早めに訪室出来る安心感もあり、特に夜勤者については精神的な負担の軽減が出来た。
- ・ターミナル対応の入居者に対しては、脈拍の動きなどパソコン上でも確認でき状態把握が多職種へもスムーズになった。連携も取りやすくなったと感じる。
- ・ご家族へもロボットの説明を実施。安心されたり喜ばれるなど好感を持たれていた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名(社会福祉法人 春生会)

事業所名(ショートステイあさひが丘)

サービス種別(短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守りライフ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月17日	1	令和元年10月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 利用者様のADL情報から居室内での転倒リスクの高い方に対して使用している。
- 新規利用者様の生活リズムの情報収集に使用している。
- 使用対象の利用者様については、ユニットリーダー・サブリーダーが中心となり、選定し生活相談員と情報共有し使用している。

【介護ロボットの導入効果】

- 見守りライフ使用前には転倒リスクの高い利用者様には人感センサーやセンサーマットを使用していたが、他の利用者様支援中で人感センサーの反応音が聞き取れない場合や、センサーマット反応後では訪室時に歩行されてたりと、対応が間に合わず事故やヒヤリハットとして報告が挙がってきていた。見守りライフ導入後は、ナースコールと連動し呼び出し音が鳴ることと、ベット上の利用者様の体位に合わせてナースコールが鳴るように設定されているため、早めに訪室対応ができ、転倒・転落事故、ヒヤリハットの減少に繋がっている。また、ベット上での状況把握が可能となったため、夜勤を行う支援員の精神的負担軽減につながっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームコムネックスみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		次世代予測型見守りシステム Neos+Care(ネオスケア)		
導入時期	導入台 (セット)数	購入日	リースの契約期間	
令和元年11月21日	4台	令和元年11月21日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	

【介護ロボットの使用状況】

ベッド位置が確認出来る壁に装着し、各入所者の身体状況、認知状況に合わせた必要サイン（起き上がり、端座位、離床、入室、退室）を設定。
 専用の携帯タブレットを持って夜間待機を行う。
 夜間訪室回数を減らし、サインがあった際にタブレットで室内状況確認（シルエット）。
 訪室しなくてよい状況であれば、タブレット上で確認を終える。
 転倒事故等のアクシデントが起きた際は、報告書作成時に録画された状況を確認し、要因分析する。対策として本人の能力に合わせた動線の確認、環境整備を行う。

【介護ロボットの導入効果】

- ・無駄な訪室を減らし、タブレット、卓上モニターにて状態確認を行うことが出来る。
 このことによって入所者の睡眠質の向上、夜間介護従事者の巡回回数軽減に繋がる。
- ・事故発生時の状況を録画のデータチェックを行うことで、リアルな要因分析が可能となった。本人の動線に合わせた環境整備、必要なリハビリの検討が実施しやすい。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 慈雲福祉会)
 事業所名 (コムネックスみづほショートステイ事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守り支援システム 「眠り SCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月26日	2台	令和元年9月26日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

行動障害の著明な入居者に使用。ベッドマットの下に敷き、24時間フロアのパソコン画面、Ipad画面にデーター受診される。行動障害の顕著なご利用者に夜間帯、睡眠、呼吸、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。夜間従事者の身体・精神的負担の軽減、見守り業務の効率化、身体状況把握が可能になっている。

【介護ロボットの導入効果】

モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データーの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の顕著なご利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となっている。データー分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直せ、その上で行動障害の軽減も見受けられる。ご利用者の身体状況がモニタリング可能になったことで、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 慈雲福祉会)
 事業所名 (コムネックスみづほ特定施設事業所)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月26日	2台	令和元年9月26日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

行動障害の著明な入居者に使用。ベッドマットの下に敷き、24時間フロアのパソコン画面、Ipad画面にデーター受診される。行動障害の顕著なご利用者に夜間帯、睡眠、呼吸、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。夜間従事者の身体・精神的負担の軽減、見守り業務の効率化、身体状況把握が可能になっている。

【介護ロボットの導入効果】

モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データーの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の顕著なご利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となっている。データー分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直せ、その上で行動障害の軽減も見受けられる。ご利用者の身体状況がモニタリング可能になった上で、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームアルメゾンみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	次世代予測型見守りシステム Neos+Care(ネオスケア)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月21 日	10台	令和元年11月21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

一部ユニットを中心に設置。ベッド位置が確認出来る壁に装着し、各入所者の身体状況認知状況に合わせた必要サイン（起き上がり、端座位、離床、入室、退室）を設定。専用の携帯タブレットを持って夜間待機を行う。

夜間訪室回数を減らし、サインがあった際にタブレットで室内状況確認（シルエット）。訪室しなくてよい状況であれば、タブレット上で確認を終える。

転倒事故等のアクシデントが起きた際は、報告書作成時に録画された状況を確認し、要因分析する。対策として本人の能力に合わせた動線の確認、環境整備を行う。

【介護ロボットの導入効果】

- ・無駄な訪室を減らし、タブレット、卓上モニターにて状態確認を行うことが出来る。このことによって入所者の睡眠質の向上、夜間介護従事者の巡回回数軽減に繋がる。
- ・事故発生時の状況を録画のデータチェックを行うことで、リアルな要因分析が可能となつた。本人の動線に合わせた環境整備、必要なリハビリの検討が実施しやすい。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (アルメゾンみづほショートステイ事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	次世代予測型見守りシステム Neos+Care(ネオスケア)		
導入時期	導入台 (セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月21日	1台	令和元年11月21日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

ベッド位置が確認出来る壁に装着し、各入所者の身体状況、認知状況に合わせた必要サイン（起き上がり、端座位、離床、入室、退室）を設定。

専用の携帯タブレットを持って夜間待機を行う。

夜間訪室回数を減らし、サインがあった際にタブレットで室内状況確認（シルエット）。

訪室しなくてよい状況であれば、タブレット上で確認を終える。

転倒事故等のアクシデントが起きた際は、報告書作成時に録画された状況を確認し、要因分析する。対策として本人の能力に合わせた動線の確認、環境整備を行う。

【介護ロボットの導入効果】

- 無駄な訪室を減らし、タブレット、卓上モニターにて状態確認を行うことが出来る。
このことによって入所者の睡眠質の向上、夜間介護従事者の巡回回数軽減に繋がる。
- 事故発生時の状況を録画のデータチェックを行うことで、リアルな要因分析が可能となつた。本人の動線に合わせた環境整備、必要なリハビリの検討が実施しやすい。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (デイパーク大府短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り	見守りケアシステム M2 FBR-N132		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月26日	2台	令和元年11月26日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

見守りケアシステムM2 (FBR-N132) をデイパーク大府短期入所事業所の居室内に配置し、自分でナースコールを押せないご利用者や認知症等で無理な離床をされるご利用者のベットとして利用しております。

【介護ロボットの導入効果】

見守りケアシステムM2 (FBR-N132) を導入利用することで急な体動やご自分での無理な離床行為が事前にわかり、重大事故防止や職員の見守りに対する業務負担の軽減につながり、職員の精神的・身体的なストレスの軽減にもつながっております。又緊急で入所されたご利用者などの状態の把握にも大変役にたっております。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知恵会)
 事業所名 (一宮市萩の里特別養護老人ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	パラマウントベッド社製 エスパシアシリーズ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 12月 17 日	5 台	令和元年 12月 17 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

主に立位不安定にてベッドからの転落回数が多く、安全のためセンサーマットを使用されるご利用者に対し「エスパシアシリーズ」を使用しております。

【介護ロボットの導入効果】

「エスパシアシリーズ」の導入により、ご利用者の離床タイミングを確実にとらえることができるようになりました。また、ご利用者の状態（起き上がり・端座位・離床等）に合わせたセンサー反応のタイミングを設定できることから、センサーマットでは発生しやすい誤作動も減少したことから、特に夜間帯、ご利用者の睡眠を妨げる恐れのある不必要的訪室回数を減らすことができ、介護職員の業務負担及び精神的負担が軽減されました。なお、現在この見守り支援ベッドを使用されているご利用者において転落事故等は発生しておりません。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくら大樹)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
介護施設見守り	見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月18日	10	令和元年9月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・認知症を含む疾患により転倒及び転落リスクの高い方
- ・終末期により、常時観察が必要となった方
- ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用開始

【介護ロボットの導入効果】

利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった
 終末期の方、体調不良の方など常時監視が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため職員に安心感を与えることができている
 また、ベッド上での覚醒もアラートを設定できるため転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、リスクマネジメントに有効であった

⋮

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)

事業所名 (介護老人保健施設さくらの里)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
介護施設見守り	見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月18日	13	令和元年9月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・認知症を含む疾患により転倒及び転落リスクの高い方
- ・終末期により、常時観察が必要となった方
- ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用開始

【介護ロボットの導入効果】

利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった

終末期の方、体調不良の方など常時監視が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため職員に安心感を与えることができている

また、ベッド上での覚醒もアラートを設定できるため転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、リスクマネジメントに有効であった

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人さくら福祉事業会)
 事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
介護施設見守り	見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月18日	3	令和元年9月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・認知症を含む疾患により転倒及び転落リスクの高い方
- ・終末期により、常時観察が必要となった方
- ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用開始

【介護ロボットの導入効果】

利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった
 終末期の方、体調不良の方など常時監視が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため職員に安心感を与えることができている
 また、ベッド上での覚醒もアラートを設定できるため転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、リスクマネジメントに有効であった

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人長寿会)

事業所名 (特別養護老人ホームシルバーピアかりや)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	眠りSCAN(パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月25日	6台	令和元年9月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

「眠りSCAN」の導入により、主に夜間帯の見守り業務（特に夜間の覚醒・睡眠・起居・離床）にて、導入箇所は特定せず、必要度の高い入所者に対し使用をしている。

他にリアルタイムに、パソコンモニターにて、心拍数・呼吸数・動作状況を把握し業務効率化に繋げている。

【介護ロボットの導入効果】

ベテラン・若手の職員を問わず「眠りスキャン」の導入により、パソコンモニターにて一目で心拍数・呼吸数・動作状況を確認することにより、利用者様へのアプローチが的確にできるようになった。特に夜間不穏行動のある利用者の睡眠・覚醒・離床等の状態把握ができていることや転倒などが未然に防げたこと。

また夜間時間の訪室やトイレ介助が効率よくできている。利用者様の安眠だけでなく、スタッフの仕事の軽減にも繋がっていると思われる。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人長寿会)
 事業所名 (特別養護老人ホームシルバーピアみどり苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	眠りSCAN(パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月25日	8台	令和元年9月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

「眠りSCAN」の導入により、主に夜間帯の見守り業務(特に夜間の覚醒・睡眠・起居・離床)にて、導入箇所は特定せず、必要度の高い入所者に対し使用をしている。

他にリアルタイムに、パソコンモニターにて、心拍数・呼吸数・動作状況を把握し業務効率化に繋げている。

【介護ロボットの導入効果】

ベテラン・若手の職員を問わず「眠りスキャン」の導入により、パソコンモニターにて一目で心拍数・呼吸数・動作状況を確認することにより、利用者様へのアプローチが的確にできるようになった。また夜間時間の訪室やトイレ介助が効率よくできている。利用者様の安眠だけでなく、スタッフの仕事の軽減にも繋がっていると思われる。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 清明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 建国ビハーラ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りベッド	見守りケアシステム M2		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月1日	2台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

・センサーベッド導入以前から使用しているセンサーマットと今回、導入したセンサーベッドを併用し、使用。その方の状態に合わせてセンサーマット、センサーベッドを使い分け、事故防止等に努めている。

1. センサーベッド使用者の選定。

(ベッドからの転落、転倒リスクが高い方や認知症で徘徊がみられる方に使用。)

2. センサーベッド使用者の導入後の評価と定期的に会議を実施。

3. 転倒、転落リスク等が高い方を再検証し、必要であればベッド変更を実施。

【介護ロボットの導入効果】

・元々、導入していたセンサーマットと今回、導入したセンサーベッドをその方の状態に合わせて使い分けている。定期的に事故報告書やヒヤリハット等を活用し、事故分析と会議を実施。各入所者の動きに合わせて通知モード(動き出し、起き上がり、端座位)を変更出来るが、上記の分析内容を踏まえ隨時、動き出しモードの見直し、変更等を行い、事故防止に努めている。職員が早期に対応する事でベッド周囲での転倒、転落事故が減少している。また職員のセンサーベッドに対する意識が変わり、注意して入所者の動きを観察したり、転落予防等、工夫するようになった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 觀寿々会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム ヴェルバレー)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り支援	見守りシステムネオスケア		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月12	1	令和 年 月 日	令和元年9月1日から 令和4年8月31日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 利用者の居室に設置し、認知症による夜間帯の周辺症状により、ベッドからの起き上がり、起居動作を察知し、職員への通達をすることにより、転落、転倒を未然に防ぐことができるよう設置した。

【介護ロボットの導入効果】

- 利用者の居室内での、ベッドからの自己動作による起き上がり、立ち上がりで転倒、転落事故が察知できるため、職員が居室に駆けつけることができた。利用者、職員の身体的負担の軽減ができた。
- 利用者の生活パターンの把握ができるようになったため、トイレ介助、起床介助などの時間帯の把握ができた。
- ベッドからの立ち上がり、ずり落ちなどの様子が、映像として記録するため、どのような状況であったかを、確認することができた。
- 職員が利用者に関わる介助の時間が予測ができ、不要な訪室が減り、身体的、精神的負担がはかれた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。